

孤立集落(ミニ)サバイバル合宿 2024 at TSUBAKI

実施要項

2024/7/31 第3版

1. 研修の趣旨

東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC : Disaster Management Training Center)では、2024年2月から和歌山県白浜町椿地区にて防災研修を実施しています。椿地区は、日本に15,000近くあるといわれている孤立集落の1つであり、発災時には直後の数日間を自助共助によって生き抜く必要があります。地域の人々を巻き込みつつ、防災意識を向上するとともに実践的な活動能力の育成を図ることを目的として、様々な形式の研修を企画しています。

第1回となる2月には「The EOC at TSUBAKI」と題して、現地でのワークショップおよび避難所・災害対策本部運営訓練を実施しました。第2回となる5月には「孤立集落サミット 2024 at TSUBAKI」と題して、令和6年能登半島地震での被害状況を教訓としながら、参加者の方々に活発な議論を交わしていただきました。

第3回となる8月の研修では、対象者を中学生に限定し、1泊2日の合宿スタイルで、避難所生活を体験してもらいます。発災時に生き抜く術を見出しましょう。

2. 概要

- ・ **開催日** : 2024年8月8日(木)-9日(金) (1泊2日)
- ・ **場所** : 和歌山県西牟婁郡白浜町椿地区
※拠点: 旧椿小学校 (〒649-2326 和歌山県西牟婁郡白浜町椿)
- ・ **集合** : 椿小学校にて8日 11時30分
- ・ **解散** : 椿小学校にて9日 14時 (予定)
- ・ **対象者** : 防災に興味・関心のある**全国の意欲あふれる中学生諸君**
白浜町の中学生も大歓迎!
- ・ **定員** : 20名 (先着順。定員に達し次第、締め切ります。)
- ・ **参加費** : 3000円 (食費・光熱費・保険費等)
※現地までの交通費等はご負担いただきます。

- ・ **主催** : 一般社団法人 災害対策トレーニングセンター支援会(DMTC-SA)
- ・ **協力** : 東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC)
- ・ **後援** : 白浜町、白浜町教育委員会、上富田町、すさみ町、和歌山県、朝日新聞和歌山総局
- ・ **協賛** : 西松建設(株)、オレンジロケッツ(株)
- ・ **お申し込み** : <https://forms.gle/GiT8khiXwnEA7aSCA>
- ・ **お問い合わせ** : DMTC 研修申し込み窓口 tdmtc.tokyo@gmail.com
- ・ **最新の詳細情報** : <https://tdmtc.tokyo/event/cut-off-community-survival-camp-2024/>

3. 実施目的

- ① 防災意識の向上と実践的な活動能力の育成
 - ・ 防災についての基本的な知識を学び、自分や他人の安全を確保するための行動を理解し、災害時に地域のために活動できる力を育む。
- ② 将来の防災リーダーと安全な街づくり人材の育成
 - ・ 少子高齢化に伴い、中学生も地域の担い手として発災時に力を発揮することが必要である。将来の職業や生活の中で防災意識を持った街づくりや生産を行える人材を育てることで、安全に暮らせる地域を目指す。
- ③ 防災意識の普及と地域コミュニティの強化
 - ・ 訓練で得た知識や経験を家族や友人に伝えることで、防災意識を持った人材を増やし、地域コミュニティ全体の防災力を高める。

4. Mission

実施目的の達成のために、本研修では下記の3つのMissionを設定します。

- ① **災害のメカニズム・対応について学ぶ!**
 - ・ 各種ハザードの起こるメカニズムを理解しよう。
 - ・ ジオサイト見学から、地球の営みを感じ、ハザードへの理解を深めよう。
 - ・ 平時とは異なる、災害対応のリアルを知ろう。
 - ・ DMTCの掲げる「47種類の災害対策業務」のフレームワークを理解しよう。
 - ・ 避難所運営訓練(TSM)を体験しよう。

② 避難所での一夜を体験する！

- ・ 緊急避難の訓練を行い、避難場所の課題を考えよう。
- ・ 避難所の開設を迅速に行うために必要なことを学ぼう。
- ・ 各時間帯における避難所生活を体験し、必要な道具は何か考えよう。
- ・ 避難用緊急持ち出し袋の中身をよりよくしよう。
- ・ 自助・共助によって生き残る術をまとめ、発表しよう！

③ 椿地区の自然を楽しむ！

- ・ 椿で見る星空、温泉、自然を堪能しましょう！

5. 研修のスケジュール・内容について

白浜町外からの参加者向けに、白浜空港・白浜駅からの送迎車を運行する予定です。また、白浜町内の参加者については、路線バスもしくは鉄道、自家用車でのお来場を想定しています。詳細につきましては、参加者が確定し次第、ご案内いたします。

8日 11:20	集合・受付	椿小学校にて
11:30	開会式	研修の流れを説明します。
12:00	ランチタイム	参加者同士で親睦を深めましょう！ 緊急持ち出し袋の中身をシェアしてもらいます。
13:00	講義「災害科学論」	Mission1 に対応。ハザードについて学ぼう！
13:50	講義「災害対策論」	Mission1 に対応。災害対応を学ぼう！
14:50	テント設営体験	東京海上日動様にご協力いただきます。
15:45	移動	バスに乗車します。
16:00	現地見学	椿地区の街並みや特徴的なジオサイトを実際に見てもらいます！
17:00	避難訓練	Mission2 に対応。津波から逃げよう！
17:30	移動	バス
18:00	入浴	道の駅 椿はなの湯にて
19:00	夕食	椿小にて、避難食やブチ BBQ を楽しもう！
20:30	夜の避難訓練	Mission2 に対応。夜で変わることは？
21:15	夜の避難所生活	Mission2 に対応。夜だからこそ体験！
22:30	就寝	簡易寝具あり、空調ありの大部屋を予定

9日 6:00	起床・朝の避難生活	朝にしたいことは？
6:45	朝食	軽食(パン)を用意します。
7:00	避難所運営訓練	Mission1・2 に対応。うまく対応できるか？ ドローン体験も用意します！！
10:00	避難生活のまとめ 発表資料の作成	1. 緊急持ち出し袋の中身の理想とは？ 2. 孤立集落での防災対策は何ができるか？
11:00	班別発表	他者の意見を聞いてブラッシュアップしよう！
12:00	昼食	椿地区婦人会の皆様にご用意いただきます。
13:00	シンポジウムの準備	発表資料や原稿を作成しよう！
13:40	閉会式	
14:00	解散	

解散後、希望者向けにミニ観光ツアー(三段壁・千畳敷・白良浜など)を実施予定です。帰りの航空機・鉄道の時間に合わせて調整する予定です。

8/25・26 のどちらかで、オンライン(Zoom)にて研修の成果を発表していただくシンポジウムを開催します。PC 上での資料作成、発表を経験できるチャンス！優れた発表をした班には賞を授与します。

6. 準備物

持ち物につきましては、個人のものだとわかるように名前等をご記入ください。

- 1 日目の昼食
- 1 日目の飲み物 (2 日目の分は用意します)
- 2 日目の分の着替え
- タオル
- 帽子、等の熱中症対策グッズ
- 小さいカバン (現地見学の際に持ち運びできるようなもの)
- 筆記用具
- 常備薬など
- 保険証
- 避難用緊急持ち出し袋 (避難食以外、避難食はこちらで用意します)

7. 事前ガイダンスについて

研修の実施にあたりまして、7/25(木)20:00 から事前ガイダンスをオンライン (Zoom)にて実施しました。研修内容について詳しく説明させていただくとともに、事前課題を提示しました。

[こちらの共有フォルダ](#)に、録画したガイダンス映像をアップロードしています。また、事前課題として提示している「孤立集落サミット 政策提言書」も併せて格納しておりますので、ご一読ください。

8. 申し込み方法について

お申し込みにあたっては、保護者様から [Google フォーム](#)にてお願いいたします。お申し込み後に自動返信メールが届きますので、整理番号を確認の上、参加当日まで保管していただきますようお願いいたします。

参加費の 3,000 円につきましては、お申し込み後 1 週間以内に、下記の銀行口座まで振り込みをお願いいたします。

楽天銀行 第四営業支店
支店コード 254
普通預金 7230143

一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会
シャ)サイガイタイサクトレーニンクセンターシエンカイトウキヨウ

振込依頼人名：整理番号+保護者様の氏名

※振込手数料はお申込み者様のご負担とさせていただきます。

9. 注意事項

- ・ 申し込み人数が少ない場合等には、研修の実施を中止する可能性があります。その場合は、参加費は全額返金させていただきます。

- ・ 食事のアレルギー等、特別な配慮が必要な参加者の方がいらっしゃいましたら、個別に対応させていただきます。お申し込み時にお知らせください。
- ・ 参加申し込み後にやむを得ずキャンセルされたい場合は、問い合わせ先までご連絡ください。個別に対応させていただきます。
- ・ 研修の実施にあたり、損害保険に加入しております。研修中のけが・病気などの対応については、保険の規定に準じます。
- ・ 研修中に、南海トラフ大地震等がおこり、災害に遭う可能性があります。その場合、主催者の指示等に従って、避難をしていただきます。
- ・ 研修中、新聞社等の取材をおこなう可能性があります。また、記録・研究用として、主催者が動画撮影等をおこなう可能性があります。
- ・ お申し込み時に収集した情報につきましては、参加者の管理・連絡、企画の進行、研修の研究のみに使用し、第三者に提供することはありません。

10. 問い合わせ先

DMTC 研修申し込み窓口 [tdmtc.tokyo\[at\]gmail.com](mailto:tdmtc.tokyo[at]gmail.com)
※[at]を@に変えてください。